

ピンクリボン通信 vol.5

～マンモグラフィ検査について～



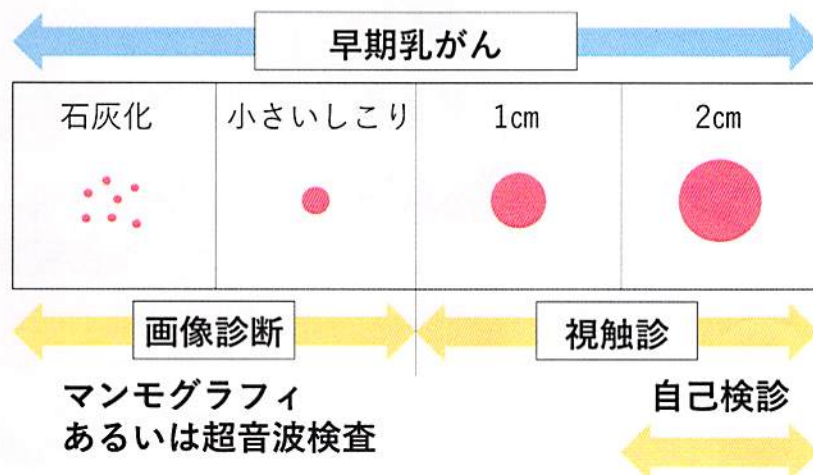
マンモグラフィ検査って？

マンモグラフィは乳房を2枚の板に挟んで圧迫し、**乳房のX線検査**を行います。

しこりや石灰化の粒を画像で発見できるのが大きな特徴で、現在、乳がん検診の画像診断ではこれが**基本**とされています。

授乳中の人、手術後の人、もともと乳腺の濃度が高い人などはマンモグラフィだけでは見落とされる恐れがあるので、**超音波検査との併用**が望まれます。

マンモグラフィによる放射線被ばく線量は、東京とニューヨーク間を往復する機内で浴びる放射線量とほぼ同じで、**危険性はほとんどありません**。



早期乳がんの発見方法



◆ 装置紹介

当院では富士フィルム社製のAMULET Innovalityというマンモグラフィ装置を使用しています。従来の装置に比べて圧迫による痛みが少ないのが特徴です。

◆ マンモグラフィの受け方

- 撮影はすべて**女性技師**が行います。
- むやみに緊張せずに、**リラックス**して受けると痛みが軽減されます。
- 更衣、撮影、撮影終了、確認まで、およそ**15分前後**かかります。



◆ マンモグラフィで注意したいこと

- 撮影中はできるだけ乳房を引き伸ばして撮影するため、圧迫による**痛み**を感じる場合があります。これは、少ない放射線量でしこりや石灰化の影をはっきりと写すためです。
- 検査当日は**上下セパレート**の服装でお越してください。
- わきの下の制汗剤やパウダー等は事前に拭き取っておいてください。
- 妊娠中や授乳中の方、人工ペースメーカー装着中の方、豊胸術（シリコン挿入等）を受けたことのある方は、**検診受診をお断り**しています。